

平成30年6月24日執行 滋賀県知事選挙開票事務の検証及び改善点  
(開票事務主任者対象の反省会での意見)

(1) 全体を通じて

- \* 事務主任は役職を考えないで経験により割り当てるべきである。(選管書記は除く。)
- \* 模擬票や模擬の投票録を作成してリハーサルした方がイメージしやすい。理解度も向上すると思う。
- \* 機器の試行をしておく必要がある。(計数機の不具合があった。)
- \* 各係の役割や動きについて再度確認する必要がある。特に総括指揮、開票事務巡視担当、庶務の役割をきちんと分ける必要がある。
- \* 1時間37分かかっているが、県内では平均的な時間である。開票立会人も休まず押印されていたので、大幅な短縮は難しいと思う。ただし、高島市は票数も少ないが49分で終えており、どのように開票立会人に説明しているのか聞いてみるといいと思う。
  - ・ 事務主任として服装のチェックを行ったか。職員が一致団結して開票事務に当たる姿勢にはほころびがあると受け止めた記者がいた。
  - ・ 長袖を折って開票作業をしている職員がいた。
  - ・ ベストはXLで統一されていたが、それでも小さくて着られない人がいた。それは服装の乱れではないので、できればさらに大きいサイズを用意してほしい。
  - ・ 名札を首からかけている人とベストのファスナーの穴でピン留めしている人がいた。  
→外部から指摘等はなかった。
  - ・ 参観人受付簿は、連名の様式でなく、1人1枚とすべきである。
  - ・ 不適切集計の判明後、初の選挙ということで多くのプレスが取材に来た。カメラ入りプレスのスペースが狭く感じられたが、事前にプレスと打ち合わせをしておいたため、実際にはスムーズであった。

意見を受けての今後の改善方法 (案)

- \* 事務主任の経験を反省会等の機会に洗い出し、次回のマニュアルに反映させる。
- \* リハーサルで模擬票を活用し、より実際に近い経験ができるよう配慮する。
- \* 計数機の試行について、当日と同じ条件で全台行うように改める。
- \* 総括指揮、開票事務巡視担当、庶務等の係の役割をより明確にする。
- \* 他の自治体の開票事務について聞き取り等を行い、研究する。
  - ・ 選挙事務の意義や心構えを説明会の際にしっかりと伝える。
  - ・ 参観人の受付簿は、1人1枚の様式に見直す。

## (2) 投票箱の受領まで

- \* 期日前投票の投票録をどのように確認するのかについてもマニュアルに記述してほしい。
- ・ 駐車場整理の人員配置で、甲南情報交流センターから県道へ出る位置にもう1人配置し、歩道の通行者誘導と県道へ出る車誘導とを行う方が良い。一方、玄関広場裏口の入口は、3人でなく2人で対応できる。
- ・ 投票箱を送致するための車を事務主任が運転していた。先に投票管理者等に下りていただき、車を置きに駐車場まで行っている間、投票管理者等がロビーで待っている時間が長くなり、立腹されることがあった。非効率なので、投票箱送致者と車両運転者を明確にし、役割を投票事務従事者に与えておくと良い。
- ・ 各投票所の投票管理者と投票事務主任が開票所に投票箱を送致する。開票事務従事者による投票箱の点検を受けた後、投票管理者は1人でホワイエに戻るようになるが、不安に思っておられる管理者がおられた。投票事務主任は、投票箱を受け渡してからの動きを投票管理者に説明しておくべきである。
- ・ 封筒D・E（選挙人名簿抄本、各種書類等）の受領について、受領した封筒を入れるトレイが少なく、トレイからあふれてしまった。あと2箱くらい必要であった。
- ・ 会場入口の誘導について、庶務係4人があたっていたが、一時的に混雑した。もう少しの方が良かったかもしれない。（参観名簿への記帳の案内が不十分であった。）

## 意見を受けての今後の改善方法（案）

- \* 期日前投票の投票録については、事前に事務局で確認する。
- ・ より効率よく送致できるよう送致者への事前周知を徹底し、開票所での誘導を見直す。

## (3) 白票（残票）の確認及び封印時

- ・ 計算係が確認した封筒を白票管理係に運ぶ係は、別に用意してほしかった。
- ・ 係が白票保存箱を閉じる前に開票管理者に見ていただく方向で見直したい。
- ・ 開票管理者のところに箱を持参し封印をいただく予定であったが、予測より残票が多く、動かすことが難しかったため、押しに来ていただく形に変更した。
- ・ 1選挙でも大きな箱を2つ使っている。複数選挙の場合、どのように保管していくのか検討すべきである。
- ・ 投票所の数が多いため、白票の数を計算機で確認するのは無理がある。庶務係がパソコンで行っていたが、時間がかかった。白票管理係にパソコンを設置し、エクセル入力してはどうか。
- ・ 集計票裏面に貼られた両面テープの切れ目が表面記載箇所にあたり書きづらかった。
- ・ 白票封印後、係2人が監視していたが、開票立会人の監視下でもあり、従事者がずっとついている必要はないと思う。
  - 後半に業務が集中する投票整理係と統合してもよいのではないか。
  - 投票整理係を務めたが、統合は可能だと思う。
- ・ 事務主任者は、監視の役割で実務はしないという考え方が浸透していなかった。少なく

とも計算係と白票管理係では重要な部分を担わざるを得なかった。

#### 意見を受けての今後の改善方法（案）

- ・係が白票保存箱を閉じる前に開票管理者の確認を受け、その後、封印をしていただく。
- ・白票保存箱の大きさを見直す。
- ・白票の管理がエクセルでできるようパソコンを設置する。
- ・白票管理係と投票整理係を兼務とする。
- ・事務主任が実務をしないよう役割分担と人数を見直す。

#### （４）投票箱の開錠時

- \*かぎを取り出し錠を開け、再度封筒に入れる作業は、手間がかかる。人が不足しているように思った。  
→このタイミングであれば、点検係との兼務者が控えていた。開錠から加わることもできると思う。
- \*投票箱のかぎを空けた後は、左右の扉を閉め、開票所への出入りを管理すべきである。
- \*開錠作業については、誰がどの投票箱の開錠を担当するのか決めていなかった。

#### 意見を受けての今後の改善方法（案）

- \*点検係が開錠に加わるよう見直す。
- \*開錠を開始する際に、開票所を閉鎖するよう見直す。
- \*開錠作業について、誰がどの順に行うべきかを検討する。

#### （５）投票箱の開披時

- ・８人でのローテーションであったが、開票台の大きさから考えると８人がちょうどよい。
- ・タイミングを合わせることできっちりやっていることをアピールできるとは思いますが、時間がかかりすぎる。開票台に開票するまでの時間が長くなり、複数の投票時の開票作業が非常に遅くなり、非効率である。
- ・広い会場で、第１回～第３回に区分けせず、順番に開票し、元の場所に戻すようにするほうが良い。空きよ確認も同様である。
- ・開票台と開票台との間を狭め、もう１台置くことはできないか。  
→移動係が作業をやりづらくなるのではないか。
- ・空になった投票箱を所定の位置に戻した後、開票係がいったん開票台に戻っていたが、どういう趣旨か。  
→指示があるまで投票箱に触れないように考えていた。また、開票台に戻らないと、確認係の作業を阻害することになる。
- ・投票箱を置くための通路は狭いと思うが、あれくらいでないと置ききれないと思う。
- ・確認係は投票台ごとに２人ずつ必要か。

- 投票箱が空になったか、またそろっているかの確認を行う際は、2人1組が良い。こうした確認が終われば、1人体制にして、1人は開票作業に入ってもよいと思う。
- ・投票箱の確認に効率化が求められる。(国政選挙など票数が多い場合)

#### 意見を受けての今後の改善方法 (案)

- ・投票箱から投票用紙を取り出す担当者を1開票台ごとに2班づくり、交互に取り出すなど、効率化が図れないか検討する。

#### (6) 開票 (票の収集) 時

- \* 期日前投票所の票が多いので、Dの開票台の票が多くなった。開票するとき、分けた方がよいのではないか。一方で、Cの開票台は票が少なかったようである。
  - 開票台ごとの投票用紙の比率は、A 22%、B 21%、C 20%、D 36%であった。作業台ごとに取り出す票数が同程度となるよう工夫したい。
- \* 票を収集するための人数が不足していた。
  - 確認係も票の収集を行う方がよい。
  - 空になった投票箱を2人ずつが監視する必要はない。監視は1人で十分である。
- \* 空の投票箱の確認は指差し、声上げをしながらするべきである。
- \* 分類機の電源が踏まれて抜けた。元電源の所へ注意看板等を設置すべきである。
- \* 自らの開票台の開票が終わった職員は別の開票作業へ回すべきである。
  - 開票係事務主任の指示により応援をしていた。
- \* 票の収集が遅い職員が複数いた。スピードを徹底させるべきである。
- \* 複数の投票があった場合、今の体制では回れない。投票所の数を減らすなどの検討が必要である。
- ・分類係には業者が常駐しており、スムーズであった。

#### 意見を受けての今後の改善方法 (案)

- \* 期日前投票の投票箱を開ける台を分けるなど収集枚数が均等になるよう工夫する。
- \* 確認係について、確認後は票の収集を行うように見直す。
- \* 確認係は声を出し、指差し確認するよう改める。
- \* 機器の電源について、養生方法を工夫する。
- \* 事務主任は係間の応援指示を出す。
- \* 票の収集については、リハーサル時に開票係事務主任が重要性や趣旨について説明を行う。

#### (7) 点検、審査時

- \* リハーサルで模擬票がなく、点検のイメージがつけられなかった。
- \* 仕事量に対して、点検係の人数が少なく感じた。点検後の計算係への移動に一定のルールが必要だと感じた。

→縦に机を増設することで、票の移動が容易になり、点検係を増員することもできるのではないかと。

→点検係の机が長くなるため、点検係内で票を移動させる役割の者を用意する必要がある。

\*集計係から開票立会人に票を回付する際、疑問票から確定票に変わったものや無効票については、庶務係でなく審査係が回付した方がよい。開票立会人からの質問や意見に答えられない場面があった。

\*点字の読み取りについて、今回は候補者が2人であったため、スムーズだったが、候補者が多い選挙では、専門の方に依頼してほしい。

\*疑問票が多かった。事前に、疑問票の想定をつくって、開票立会人等に説明しておくとういと思う。

・係ごとに机の左右を使い、三日月候補を確認する者と近藤候補を確認する者に分かれて点検した。

・票の表裏を点検する必要があったが、表面をすべて点検してから裏面を点検する者もいたし、表裏を1枚ずつ点検する者もいた。

・点検を行う際、姓のみや名のみはすべて審査係に回付した。あらかじめ指示があれば、審査係への回付を少なくできると思う。

→審査係では有効であることが明白であるため、すぐに計算係に回付していた。流れる的に問題はなかったと思う。むしろ、無効票の分類に時間がかかった。

#### 意見を受けての今後の改善方法（案）

\*リハーサルで模擬票を使用し、点検のイメージができるよう配慮する。

\*票の収集を終えた開票係が点検を行うなど、点検係を応援できる体制がつかれないか検討する。

\*開票立会人への回付について、疑問票に関するものは審査係が行うよう改める。

\*点字の読み取りについて、候補者等が多い場合、視覚障害者協会等に協力を依頼する。

\*疑問票の想定を作成し、開票管理者及び開票立会人に事前説明を行うよう改める。

#### (8) 計算以降

\*票の移動について、一部、庶務係があたっていたが、開票係等で担当業務が終わった者が、票を移動させる係に回ったほうが良い。

\*開票立会人の意見により票の効力が変わり、審査係に戻す際、投票整理係のそばを通ることがあった。投票整理係は確定した票を管理しているセクションであることから、投票整理係に近づかない動線としてほしい。

・計算係は3人1組であったが、全て新人（未経験）のブースがあり、不安との声が聞かれた。経験者を1名以上含むようにしていただくと良いと思う。

・複数の選挙の場合、開票立会人への票の回付は庶務係だけではできない。

#### 意見を受けての今後の改善方法（案）

\*票を移動させる担当をマニュアルに明記するよう改める。

\*効力が確定した票を集積する机にはバリケードを設ける。

#### (9) 確定時

\*最終の確認作業は開票管理者を中心にするべきである。協議するときには庶務係の所に集まりすぎており、職員だけで確認を行っているように見えた。

・投票箱のたたみ方が分からず手間取った。たたむ必要があるのか。

→投票箱に何か挟まっていないかといった最終の確認でもあるため、確定前に行いたい。

→投票箱をたたむ作業は、移動係、確認係も一緒に行うと良い。

→投票箱をたたむ作業について、確認という意味であれば、すでに何度も確認しているので、開票中に行う必要はない。

#### 意見を受けての今後の改善方法（案）

\*庶務係が進行状況を開票管理者及び総括指揮に報告に行くよう改める。

・開票事務が深夜に及ぶことから、片付けの時間を短縮するために投票箱をたたむこととしたい。